



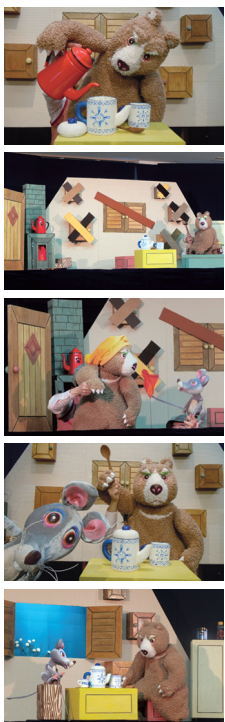
この人形劇は
「おきやく、おことわり？」と
「おとまり、おことわり？」
の2冊の絵本から
創作しました。

どちらも、クマのところへ
ネズミが訪ねて来るお話
です。絵本ではネズミが訪
ねて来る事で、自身の生活
リズムを崩され、慌てふた
めきながらも“新たな幸せ”
を見つけるクマが描かれてい
ます。

では、そんな風にクマを
導くネズミとは一体どんな

“人間”なんだろう？そんな興味にかられ、人形劇ではネズミのドラマ
も膨らませました。クマに追い出されても追い出されても、決して
あきらめないネズミ。その強さが少しずつ、クマの心を動かします。

自分をあきらめない強さと、相手をあきらめない強さ、それは人間
をあきらめない強さです。



大きなクマと小さなネズミの物語……………

森の家に独りで暮らすクマは、毎朝おなじように目を覚まし、おなじよう
に椅子に座り、おなじようにミルクティーを飲みます。

ただただ静かに誰にも邪魔されることなく“キチンと”生活している事が
何よりの幸せ。今日もミルクティーを淹れ、そのあまーい匂いに満足気です。

そこへミルクティーのあまーい匂いに誘われて、一匹のネズミがやって
来ました。このネズミは何にでも興味津々、好奇心でいっぱい。

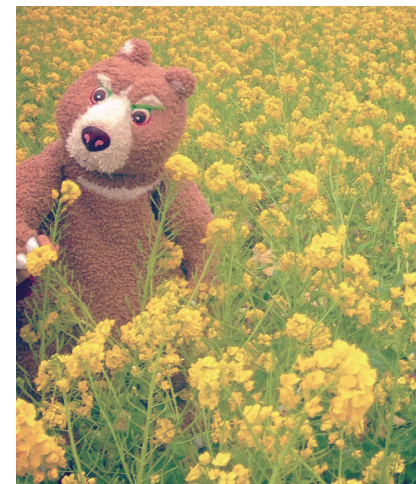
ネズミはクマの家の扉をノックします。が、大事なお茶の時間を邪魔され
て、クマは強く追い返します。

「おきやく、おことわり！」

それでもネズミはあきらめません。追い返されても追い返され
ても扉をノックし続けて、とうとうクマも根負けしてネズミに
ミルクティーを淹れるのですが…。

大きさも性格も“全く逆”の二人のおかしなお茶会が始まり
ます。

さてさて、どうなることやら…。



現代、人間関係が
希薄だと感じる事は
多々あります。相手は
自分を受け入れてくれ
るだろうか？と怖れる
気持ちが過度に働い
てしまう。それは、
子どもたちの友達関
係の中にまでも見られ
ます。

あきらめずドアを
ノックし続ける小さな
ネズミと、心動かされ

る大きなクマ、二人だけの人形劇に“人間をあきらめない強さ”を
込めて届けたいと思います。

演出／奥洞昇